

2 K大学附属学校園 (高知県)

学校概要

■ 規模

学校	学級数	児童等数	教職員数
特別支援学校	9	60	27
幼稚園	5	158	7
小学校	21	737	33
中学校	12	471	23
合計	47	1,426	90

■ 周辺状況・特徴

- 特別支援学校は、大学のメインキャンパス内に位置し、他の幼稚園、小学校、中学校は、高知市中心部よりの住宅地にある別キャンパスに一団を形成している。

- K大学附属学校園の園児、児童、生徒は、高知県内の広範囲から通学している。

幼稚園、小学校 (高知市内から通学)

中学校 (公共交通機関使用 1 時間以内から通学)

特別支援学校 (県内通学可能範囲から通学)



小学校正門

取組のきっかけ

- 学校を発生場所とする事件の増加を背景に、子どもたちの安全の確保と施設の安全管理の一層の徹底が求められている。本附属学校園においても、これまでの不審者侵入時の対応マニュアルの整備と防犯訓練を含めた防犯対策の一層の点検・改善が求められている。



附属特別支援学校のある大学メインキャンパス

- これまで、施設面の視点からは、定期的な点検を実施していなかったため、文部科学省の「防犯マニュアル作成に関する支援事業」を活用し、全附属学校園共通の防犯対策の点検、改善を行うこととした。

検討体制の設置

- 本事業の実施体制を整えるにあたり、学校関係者として附属学校の副校園長、PTA会長、大学教職員等に加え、外部専門家として学校の防犯対策に積極的に取り組んでいる公立学校の校長、高知県警察地域安全対策推進室長、防犯セキュリティーアドバイザーを委員とした。
- また、本大学の教育学部の学生が、地域の防犯ボランティア活動として組織的にパトロールを行っている学生の代表からも意見をもらっている。

主な検討体制メンバー

学校関係者

教育学部教授

附属特別支援学校、幼稚園、小・中学校の

副校長

同附属学校園のPTA会長等

学生ボランティア代表

外部

公立小学校長（高知市立A小学校長）

高知県警察本部地域安全対策推進室長

防犯セキュリティーアドバイザー



学生の防犯ボランティア活動を紹介する新聞記事

- 不審者侵入防止の観点から、警戒ラインである門・囲障の状況、見通しについて確認し、各附属学校園の状況に応じた点検を行った。
- 課題については図面に書き込むとともに、写真を撮り記録した。



問題点を敷地配置図に書き込み写真で記録

現状の把握と課題の抽出

- 防犯に関する現状把握は、敷地配置図を使い、検討体制メンバー全員で計2回実施した。
- 今回、初めて幼稚園、小・中学校が併設する敷地を関係者が一緒に点検したことにより、敷地の状況、防犯上の弱点等が把握でき、また、緊急時の避難経路の設定や連携に役立つことが分かった。



K大学附属幼稚園・小・中学校が同居する敷地

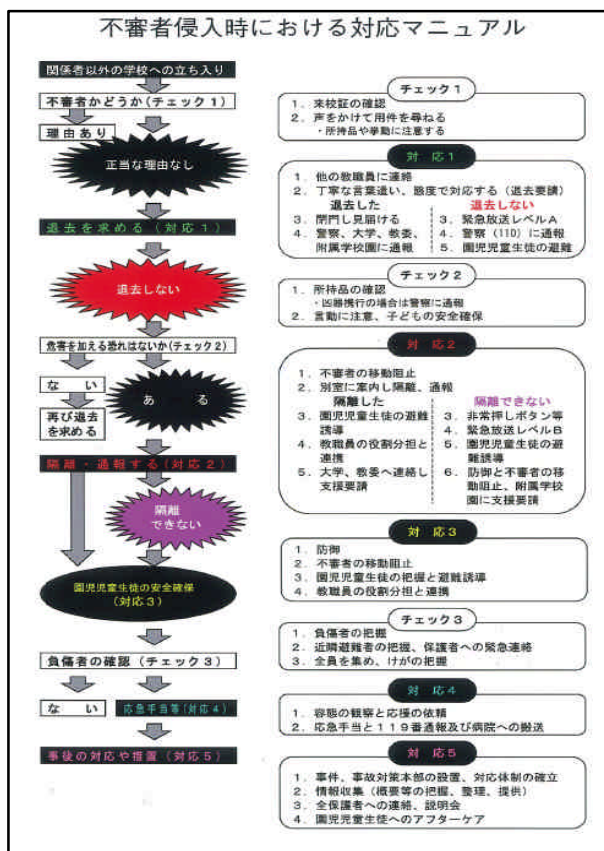
マニュアルチェックリストの活用

- マニュアル作成は各附属学校園の状況に応じた内容となるように留意するとともに、各学校園の連携についても重視している。
- 定期点検のためのチェックリストは、毎日の巡回時用と、毎月1回の部屋毎の点検用を作成し、担当者が管理者に結果を報告することとしている。

■防犯チェックシート(様式2 No.4)		年 月 分															副園長:			
D-W-M-Yラング		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	記	改善
項目		破	ゴ	いた	錠	電	ド	防	セ	照	非	廊	校	受	露	通	サ			
No.	場所	破	ゴ	いた	錠	電	ド	防	セ	照	非	廊	校	受	露	通	サ			
	給湯室																			
	教材室																			
	保健室																			
	職員室																			
	ピロティ																			
	スロープ																			
	倉庫																			
	遊戯室																			
	保育室(西)																			
	教材室																			
	保育室(東)																			
	保育室(西)																			
	教材室																			
	保育室(東)																			
	保育室(西)																			
	教材室																			
	保育室(東)																			
	1F西																			
	1F東																			
	3才児保育棟																			
	4才児保育棟																			
	5才児保育棟																			
	運動場																			
	遊具																			

部屋毎の定期点検用チェックリスト(毎月) 資料参照 (P50)

- これまでも定期点検は行われていたが、定まった様式はなかった。統一チェックリストでチェック項目が整理されたことは点検上有効である。



不審者侵入時対応マニュアル 資料参照 P49)

改善措置の実施

- 改善措置については、緊急性、対応可能性の高い順に第1次～第3次改善に分けて計画している。
- 改善計画の主な内容は、不審者侵入に直結するような困障の破れの改善は第一次改善、視認性の確保のために行うすりガラスを透明ガラスへの交換は経費がともなうことから段階的な第二次改善としている。
- 今回の点検活動で分かった、樹木による見通しが妨げられている点について解消するために、保護者ボランティアによる枝払い剪定作業を実施している。



保護者ボランティアにより枝払い剪定された樹木

点検 改善の取組の周知、見直し

- 防犯マニュアルは附属学校園の教職員に配布するとともに、今後は内容を分かりやすく解説した印刷物等を作成し、児童生徒、保護者等にも配布・周知し、防犯意識の向上を図ることとしている。

今後の課題

- 今回の検討は、防犯に限ったマニュアル作成であったが、今後はその他の災害、防災、安全管理、生活(いじめ、不登校)のほか、心のケアやマスク対策等の対応マニュアルの課題についても検討していくこととしている。

研究会コメント

- 防犯の点検 改善事業に参画することにより教職員等の学校関係者に防犯対策の必要性や視点について相互理解が深まっている。
- マニュアルが整備され、今後は教職員、園児、児童生徒への日常点検、防犯訓練、防犯教育等を通じた継続的で円滑な防犯対策の推進が必要である。